

第3章 地域福祉推進の考え方

1 計画の基本理念

地域共生社会の考え方を踏まえ、市民一人ひとりがお互いに支え合い、健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことのできるまちを目指すため、次の基本理念に基づき地域福祉を推進します。

地域共生社会の実現は、制度や分野ごとの「縦割り」では解決できない複合的課題や制度の狭間の課題、社会的な孤立や社会的排除への対応、地域の「つながり」の弱まりや地域の持続可能性の課題などの諸問題に対応するため「公的支援」と「地域づくり」の仕組み、双方の転換を目指すものです。

すべての市民が共に支え合い、安心して、生き生きと暮らせるまち おびひろ

なお、この基本理念は、帯広市の「第三期帯広市地域福祉計画」と連携を図りながら取り組みを進めるため同じくしています。

2 計画の基本目標

計画の基本理念の実現を目指すため、次の4つの基本目標を設定します。

【基本目標1】 共に支え合う地域づくり

すべての市民が地域福祉を我が事として捉え、地域の生活課題や活動に主体的に関わり、共に支え合う地域とするため、地域の活動を支える拠点づくりや、地域福祉を担う人材の育成、地域福祉活動の推進に取り組みます。

【基本目標2】 安心して生活できる地域づくり

支援を必要とする人が、適切かつ切れ目のないサービスの提供が受けられるなど、誰もが安心して生活できる地域とするため、福祉等に関する相談体制の充実や、さまざまな部署や関係機関が連携した包括的な支援を行う体制づくりを進めます。

生活困窮者の自立支援や、権利擁護の推進などに取り組みます。

【基本目標3】 生き生きと健康で暮らせる地域づくり

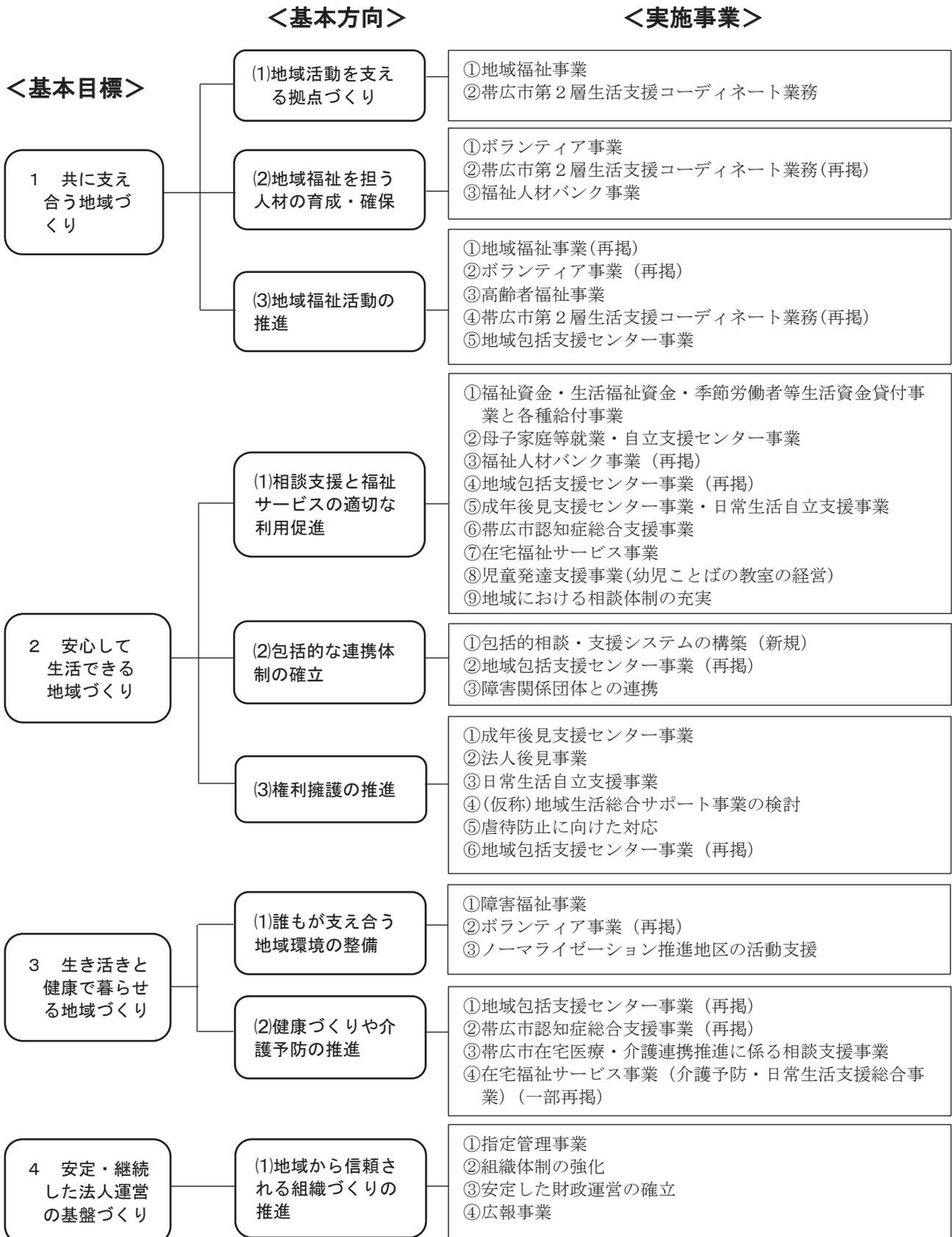
市民一人ひとりが、住み慣れた地域で生き生きと健康で暮らすことのできる地域とするため、誰もが支え合う地域環境の整備や、主体的な健康づくり、介護予防の推進などに取り組みます。

【基本目標4】 安定・継続した法人運営の基盤づくり

行政や関係機関・団体との連携を深め、組織運営を強化し、安定・継続した法人運営の基盤づくりに取り組みます。

3 施策の体系

基本理念 すべての市民が共に支え合い、安心して、生き生きと暮らせるまち おびひろ



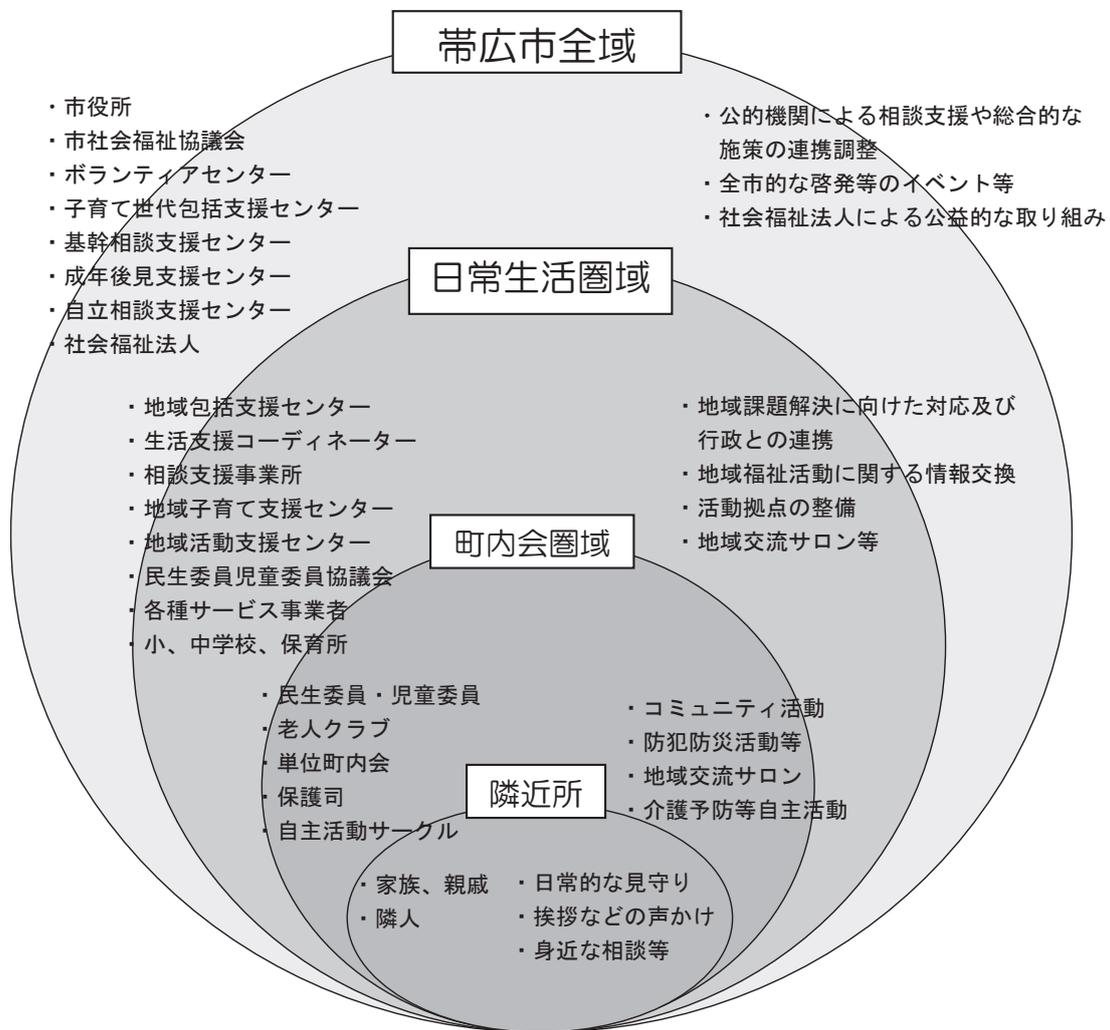
4 地域福祉活動における階層と圏域の考え方

地域福祉の活動主体には、町内会の班のような小さな主体や町内会全体など、機能や役割、対象、規模などに応じた階層があります。

また、対象となる年齢層や取り組み分野によっては、日常生活圏域、小学校区・中学校区、単位町内会・連合町内会の区域など、基本となる圏域や対象とする区域の設定を持つ場合があります。

今後、多様化する地域課題に対応していくためには、活動の目的や内容、対応する地域課題に応じて、それぞれの主体が、既定の圏域や区域を越え、階層をまたいで連携し、情報の共有を図りながら取り組むことが重要になります。

○現状における階層イメージ



※帯広市作成（第三期帯広市地域福祉計画）より引用